

広報 おだわら

ODAWARA PUBLIC INFORMATION

平成5年 9月15日
September 15, 1993 No.611

発行: 小田原市役所
〒250 小田原市荻窪300番地
毎月1・15日発行
編集: 広報広聴課 (☎ 33-1261)



小田原・箱根産業まつり おも城市場 大にぎわい



一輪車パフォーマンスに大喜び

小田原・箱根・産業まつり「おも城市場」が八月二十八日(土)・二十九日(日)の二日間、城址公園の旧城内スポーツクリエーション広場で開かれ、家族連れなどにぎわいました。この催しは小田原と箱根の産業を紹介

すると同時に、市民との交流を深めることが目的で、今年十周年を迎えた小田原商工会議所青年部が企画しました。各テントでは工芸品や各企業の製品などが展示、即売され、また、城下町パフォーマンスに入場者は大喜びでした。



大人気の蚤の市

中央公民館フェスティバル 交流と笑顔と共感と

公民館利用団体などが一堂に会するお祭り、中央公民館フェスティバルが八月二十一日(土)・二十二日(日)の二日間、市役所隣の中央公民館で開かれました。当日は音楽、演劇、舞踊などの発表、美術、工芸の作品展や実技指導など、三十三団体が日々の成果をおしみなく披露し、来館者の共感を誘っていました。また、恒例の「蚤の市」では日常生活用品などが破格の値段で買えるとあって、主婦たちの人気を集めしていました。

目 次

- ② 市民と市長の「ほっと懇談会」、固定資産税評価替え
- ③ 第40回市民文化祭、マイタウンレポート
- ④ ⑤ 特集 ぼくの家の下水道
- ⑥ ⑦ きらめき情報、けんこうコーナー
- ⑧ グリーンライフおだわら'93、おだわらの鳥

熱い思いを語り合う

総務庁統計局による住宅統計調査が、十月一日現在を調査日として全国一斉に実施されます。この調査は、「統計法」に基づく国の中重要な統計調査で、昭和二十三年以來五年ごとに実施されています。調査は、住宅と世帯の居住状態の現状と推移を地域別に明らかにするために行われます。そして、国、地方の住宅建設五か年計画を始めとする住宅関係諸施策の企画・立案とその達成状況を把握するため

◎調査の対象
対象は、総務庁が選定する地域にお住まいの世帯の方で、全国で約四百万世帯、本市では、約六千世帯の方が対象となります。

◎調査の内容
調査は、従来から調査している持ち家か借家の別、住宅の種類、広さ、建築年次、住宅設備などの住宅に関する状況と世帯員数、住宅への入居時期などの世帯に関する事項を調べます。



国指定住宅統計調査に ご協力を

統計調査に

開催日	会場	対象地域
10月18日(月)	市農協片浦支店会議室	片浦地域
10月26日(火)	梅の里センター大会議室	川東北部地域
11月8日(月)	保健センター大会議室	川東南部地域
11月12日(金)	尊徳記念館講堂	富水・桜井地域
11月15日(月)	橋中学校屋内運動場	橋地域
11月19日(金)	市民会館第7会議室	中央地域
11月24日(水)	中央公民館大会議室	中央地域

市では十月から十一月にかけて、市民の皆さんと小澤市長に、市の現在と未来についての熱い思いを語り合っていたぞく懇談会を市内七か所で開催します。まちづくりの主役は、言うまでもなく市民の皆さんです。

市民と市長の「ほつと懇談会」

固定資産税評価替え 税負担は急に増えません

◆問い合わせ 広報広聴課
会場 うぞ
③(33) 1 2 6 3 地域づくり課
③(33) 1 4 5 7

◆開催日・会場
◆別表のとおり
◆開催時間 午後七
まで

れば
れま

❖ 市長隨想 ❖

私たちの緑

文 小澤良明

この深い緑が、二十二万市民の
命線である大量の酸素と、清冽な水を担保している。大いなる自然の営みと、そして小さな人間の果てしない努力の積み重ねが、微妙に、あるいは力強く相まって、私たちの生命と暮らしこそを支えていることに大きな感動を覚えるのである。

緑濃い山並みに抱かれている我がまちに安心感を覚え、一種の誇りすら感じるのであるが、この緑は決して座視していく得たものではないし、特にこれからは、格別な意思が働くなければならない、ということを強く自覚した一日であつた。

◆開催時間 午後七時から九時まで ◆問い合わせ 広報広聴課 ◆問合せ先 地域づくり課 ◆会場 別表のとおり ◆問合せ先 土地（宅地）の評価替えの結果、平成六年度の評価額はかなり上昇する見込みです ◆評価額はどうなる ◆税負担はどうなる ◆増えません 税評価替え ご協力をハーソン・ト 県では、来る十月から十一月にかけて、人（ハーソン）の調査に当たっては、神奈川県知事から任命された統計調査が、九月中旬から下旬にかけられ、記入して、記入していくための調査票を再び回収に伺います。なお、提出された調査票は統計的目的以外に使用することは固く禁じられており、記入された内容が、他にもれることありませんので、安心してご出ください。 ◆問い合わせ 行政総務課統計課 ◆会場 別表のとおり ◆開催時間 午後七時から九時まで ◆問い合わせ 広報広聴課 ◆問合せ先 地域づくり課 ◆会場 別表のとおり ◆問合せ先 土地（宅地）の評価替えの結果、平成六年度の評価額はかなり上昇する見込みです ◆評価額はどうなる ◆税負担はどうなる ◆増えません 税評価替え ご協力をハーソン・ト 県では、来る十月から十一月にかけて、人（ハーソン）の調査に当たっては、神奈川県知事から任命された統計調査が、九月中旬から下旬にかけられ、記入して、記入していくための調査票を再び回収に伺います。なお、提出された調査票は統計的目的以外に使用することは固く禁じられており、記入された内容が、他にもれることありませんので、安心してご出ください。

② 宅地については、評価の上昇割合に応じて、三年間にわたってなだらかな税負担となるような措置が実施されます。

③ また、都市計画税も土地に準じて、負担を軽くする措置が実施されます。

④ このほか、既に課税されている家屋の税額については、前年度と比べ、概ね三パーセントの減額となります。

※したがって、固定資産の税額は、平均的には、前年度の上昇割合を若干上回る程度に抑えられることになります。

◆問い合わせ 資産税課賦課係

☎(33)1361

の植林地の繰り返しである。私たちの気付かないところで、人の手がきめ細かく計画的に育っている。幾世代にも渡つて、麓の村から汗を流し、黙々と山を守り育ててきた林業家の厳しさと忍耐に今更ながら驚く。

第40回市民文化祭

10月中旬までの事業



敷地内には尊徳像や生家が復元されています

ぼくの家の下水道

題字：伊藤くん

ぼくは、お母さんに川をよござ
ないためにどんなくふうをしてい
るか聞いてみました。油のついた
食器は、キッチンペーパーで油を
ふきとてからあらいます。また、
食器や野菜のせんざいは、天然の
ヤシ油からとれた物を使つていま
す。さらに、せんたくのせんざい
も合成でなく、天然の物を使うよ
うにしているそうです。お母さん
は、下水をよござないように、い
ろいろ考えてくふうしていろいろな
と思いました。

受賞した伊藤君の作文の一部です

寿町の終末処理場に見学に行きました。みんなが使った水が次々に流れて来ます。その中から汚泥を取り出し、微生物が食べてくれるいいな水にしていました。

伊藤寛之くん
東富水小5年

水道のない生活、暮らしを皆さんは考えたことがありますか。こんな質問をすれば「水道がないと困る」、「不便だ」とすぐに答えるでしょう。ところが下水道がない生活は、と質問しても水道のときのようには生活に密着していると感じることはできないでしょう。今回は、(財)神奈川県下水道公社の作文コンクールで準特選を受賞した伊藤寛之君(東富水小・五年)の作文を通して、川や海を守る下水道について紹介します。

ぼくの家も
もうすぐ下水道

伊藤寛之くん
東富水小5年

四年のときに社会科の授業で寿町の終末処理場に見学に行きました。みんなが使った水が次々に流れて来ます。その中から汚泥を取り出し、微生物が食べてくれるいいな水にしていました。

協力しようと思いました。そして、汚れた水を川に流さないよう、早く全国に下水道が普及してほしいと思います。

排水の汚れを少なく

家で使った水は家の前の川に流れてしまいます。そのため川を汚さないよう工夫をしていたことをお母さんから聞きました。ぼくの家にも、もうすぐ下水道が来ます。下水道に流すようになつても、少しでも処理がしやすいように、今までどおり水を汚さないようにしなければいけないとお母さんは言っています。ぼくは、処理場のたくさん汚泥と匂いを我慢して頑張っている人のことを思いだし、協力しようと思いました。そして、汚れた水を川に流さないよう、早く全国に下水道が普及してほしいと思います。

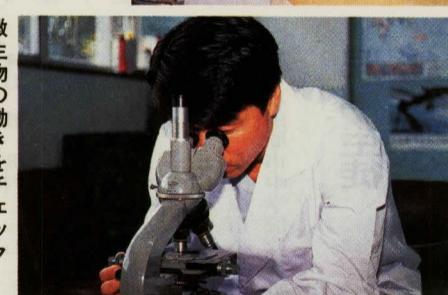
寿町終末処理場

二十四時間体制の監視室

見学者は、顕微鏡で汚泥を分解する微生物を見ることができます。



毎年四～六月にかけて市内の小学校からたくさんの児童が社会見学で訪れます。下水道の役割を理解してもらいます。



讓原栄子さん
東富水小教諭

家庭から出る排水の汚れを少なぐれば、下水道管や終末処理場にかかる負担をかなり軽減できます。油やごみを流さないでください。



布やごみは手作業で取り除きます

下水道につながっていないと、下水道につながつていないと、



下水道につながつていないと、

ふるさとの息吹

小田原の年中行事 ⑥

小田原市史編さん委員
西 海 賢二

九月の行事

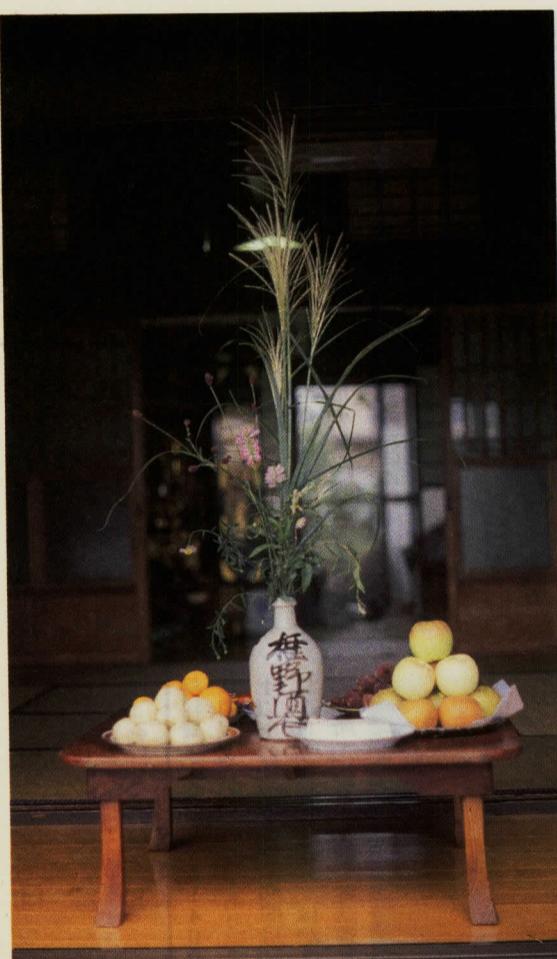
角取講

九月の行事は、農作業も追込みに入ってくるのでとくに五穀豊饒にかかる行事、風祭り

とお月見を紹介しましょう。

風祭りは、一日に行われます。このころは、農家にとって台風などの接近が気になります。そこで市内の板橋・中曾根・柏山・曾比・飯泉・上町などでは、かつて角取講という講（信仰集団）を組んで静岡県の神社に参りましたそうです。

角取講というのは、現在ではほとんど伝承にできませんが、昭和初年ごろまでは、かなり盛んだったようです。この講、現在の静岡県駿東郡小山町大御神にある角取神社に代参（村の代表が参拝すること）するもので、桜井地区などでは、講を組んで縄五十尋をこの角取神社に奉納した時に、前の講中が奉納して、縄を持ち帰ることになつてい



お月見

一般的にやる家が多い。「十五夜」

は九月、「十三夜」は十月に行い、片月見はいけないとされています。

こうすると、風よけにな

ったのだそうです。

九月の中旬になるとお月見が

はじまります。市内では暦でお

こなうところもありますが、一

般的には日でおこなうところの

月見については、現在でも個

だといわれている。

国府津一区・七区では、十五

日に十五夜をおこなつた。国府

津でも花柳界では民家より余計

十五夜、十三夜もススキの数、

ダングの数は決まっていない。

橋北（小船一・二区・山西）

では片月見はいけないとい

う。

十五夜は薄五本、団子十五個、

豆腐・梨・甘藷・里芋などを供

える。戦前までは団子盗みが各

地でおこなわれていた。竹の先

に釘をつけて、団子を盗んだも

のだといわれている。

国府津一区・七区では、十五

日に十五夜をおこなつた。国府

津でも花柳界では民家より余計

十五夜、十三夜もススキの数、

ダングの数は決まっていない。

橋北（小船一・二区・山西）

では片月見はいけないとい

う。

十五夜は薄五本、団子十五個、

豆腐・梨・甘藷・里芋などを供

える。戦前までは団子盗みが各

地でおこなわれていた。竹の先

に釘をつけて、団子を盗んだも

のだといわれている。

国府津一区・七区では、十五

日に十五夜をおこなつた。国府

津でも花柳界では民家より余計

十五夜、十三夜もススキの数、

ダングの数は決まっていない。

橋北（小船一・二区・山西）

では片月見はいけないとい

う。

十五夜は薄五本、団子十五個、

豆腐・梨・甘藷・里芋などを供

える。戦前までは団子盗みが各

地でおこなわれていた。竹の先

に釘をつけて、団子を盗んだも

のだといわれている。

国府津一区・七区では、十五

日に十五夜をおこなつた。国府

津でも花柳界では民家より余計

十五夜、十三夜もススキの数、

ダングの数は決まっていない。

橋北（小船一・二区・山西）

では片月見はいけないとい

う。

十五夜は薄五本、団子十五個、

豆腐・梨・甘藷・里芋などを供

える。戦前までは団子盗みが各

地でおこなわれていた。竹の先

に釘をつけて、団子を盗んだも

のだといわれている。

国府津一区・七区では、十五

日に十五夜をおこなつた。国府

津でも花柳界では民家より余計

十五夜、十三夜もススキの数、

ダングの数は決まっていない。

橋北（小船一・二区・山西）

では片月見はいけないとい

う。

十五夜は薄五本、団子十五個、

豆腐・梨・甘藷・里芋などを供

える。戦前までは団子盗みが各

地でおこなわれていた。竹の先

に釘をつけて、団子を盗んだも

のだといわれている。

国府津一区・七区では、十五

日に十五夜をおこなつた。国府

津でも花柳界では民家より余計

十五夜、十三夜もススキの数、

ダングの数は決まっていない。

橋北（小船一・二区・山西）

では片月見はいけないとい

う。

十五夜は薄五本、団子十五個、

豆腐・梨・甘藷・里芋などを供

える。戦前までは団子盗みが各

地でおこなわれていた。竹の先

に釘をつけて、団子を盗んだも

のだといわれている。

国府津一区・七区では、十五

日に十五夜をおこなつた。国府

津でも花柳界では民家より余計

十五夜、十三夜もススキの数、

ダングの数は決まっていない。

橋北（小船一・二区・山西）

では片月見はいけないとい

う。

十五夜は薄五本、団子十五個、

豆腐・梨・甘藷・里芋などを供

える。戦前までは団子盗みが各

地でおこなわれていた。竹の先

に釘をつけて、団子を盗んだも

のだといわれている。

国府津一区・七区では、十五

日に十五夜をおこなつた。国府

津でも花柳界では民家より余計

十五夜、十三夜もススキの数、

ダングの数は決まっていない。

橋北（小船一・二区・山西）

では片月見はいけないとい

う。

十五夜は薄五本、団子十五個、

豆腐・梨・甘藷・里芋などを供

える。戦前までは団子盗みが各

地でおこなわれていた。竹の先

に釘をつけて、団子を盗んだも

のだといわれている。

国府津一区・七区では、十五

日に十五夜をおこなつた。国府

津でも花柳界では民家より余計

十五夜、十三夜もススキの数、

ダングの数は決まっていない。

橋北（小船一・二区・山西）

では片月見はいけないとい

う。

十五夜は薄五本、団子十五個、

豆腐・梨・甘藷・里芋などを供

える。戦前までは団子盗みが各

地でおこなわれていた。竹の先

に釘をつけて、団子を盗んだも

のだといわれている。

国府津一区・七区では、十五

日に十五夜をおこなつた。国府

津でも花柳界では民家より余計

十五夜、十三夜もススキの数、

ダングの数は決まっていない。

橋北（小船一・二区・山西）

では片月見はいけないとい

う。

十五夜は薄五本、団子十五個、

豆腐・梨・甘藷・里芋などを供

える。戦前までは団子盗みが各

地でおこなわれていた。竹の先

に釘をつけて、団子を盗んだも

のだといわれている。

国府津一区・七区では、十五

日に十五夜をおこなつた。国府

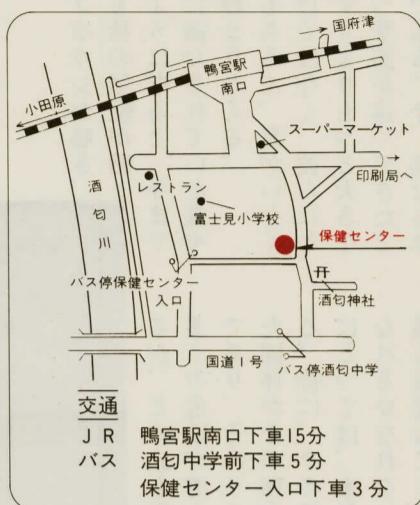
津でも花柳界では民家より余計

十五夜、十三夜もススキの数、

けんこりんくうじょ

問い合わせ・申し込みは保健センターへ

☎ 0820-47-0820



○成人病予防

年に一度、健康診査の受診を

■ 基本健康診査

肺がんと大腸がんの検査をご希望の方は受診時に申し込んでください。

△対象 40歳以上（職場などで健康診断のない方）

△場所 けんこうカレンダー掲載の取扱医療機関

△受給者証（高齢者の方）

△受診料 基本健康診査＝無料

△対象・定員 40歳以上・60人

△日時・会場 10月2日(土)保健センター

15日(金)尊徳記念館

14日(木)市役所車庫

21日(木)国府津公民館

20日(水)中央連絡所

21日(木)小田原駅

19日(火)蓮正寺公民館

14日(木)市役所

10月2日(土)保健センター

10月19日(金)小田原駅

10月22日(火)小田原駅

10月25日(月)保健センター

10月13日(水)ツベルクリン

△時間 午前8時～10時30分

△受付 午前8時～10時30分

△受診料 500円

△対象・定員 30歳以上の方

△料金 1000円

△時間 午後1時30分～2時30分

△会場 保健センター

△時間 午後1時30分～2時30分

ツクツクボウシが鳴き、
風の中にも秋の気配が感じられるようになると、今までさえずりに満たされていた森や林も妙に静まりかかる。これはもちろん、鳥がいなくなつたわけではなく、彼らにとってさえずりよりもっと大きな意味をもつ季節が巡ってきたことの現である。今、鳥たちはさえずりの時間の一分一秒を惜しんで、せつせと体力づくりのために餌を食べている。食べるということは、これから始まる長く危険いっぱいの旅に備えるということでもある。

ツクツクボウシが鳴き、
風の中にも秋の気配が感じられるようになると、今までさえずりに満たされていた森や林も妙に静まりかかる。これはもちろん、鳥がいなくなくなり、彼らにともに渡り、そして、川面を渡るシギ・チドリ、周辺のアシ原の中を静かに渡るオオルリ・キビタキ・ノゴマ、根府川海岸のアオバトの群(時には九十羽も)、海上のヒレアシシギ・カモメ類、ウナギドリなど、まだ他に多くの種がこの広い私たちの生活圏の内外を旅しているのである。

酒匂川河口付近のヒヨドリの度まであるが、どの旅も距離に関係なく、多くの危険が潜んでいるのが常であり、そのリスクを回避できない固体がその種の存続に貢献する。特に、その年生まれの若鳥にとって、来年以降、成鳥になれるかなれないかを試される、最も重要なことである。

渡りは、食物によってコントロールされ、季節の変化に伴う太陽光の長短で体の中の血を引きたせ、呼び起させることがある。

対象	日時	募集チーム数
小学生(4~6年生)の部	10月9日(土)午前10時30分から午後4時ごろまで	18チーム
ファミリーの部(小学生1人以上を含む家族)	10月10日(日)午前10時30分から午後1時ごろまで	10チーム
中学生の部	10月10日(日)午後1時30分から午後4時ごろまで	10チーム
高校生・一般の部	10月11日(月)午前10時30分から午後4時ごろまで	16チーム

第53回国民体育大会小田原市準備委員会では、通常のバスケットボール

グリーンライフおだわら'93
の会場で
3 on 3 大会が



耳で聞く郷土と祖先の歴史

市史編さん歴史講演会

秋の日の午後のひととき、

室

◆演題・講師

○「小田原藩家中および御番帳外の統制」土井浩さん(市史編さん専門委員・平塚市立博物館学芸員)

○「近代考古学の歩みと小田原杉山幾一さん(市史編さん委員・小田原城内高等学校教諭)

◆定員 200人(先着順)

◆受講料 無料

◆申し込み 電話またははがきで市史編さん室(〒250小田原市城山4-2-11)(238510)に申し込みください。



◆日時 10月11日(月)午後1時30分~4時

◆会場 市役所7階大会議室

◆対象・日時 別表のとおり

◆申込方法 電話で国民体育大

◆会場準備室(市役所五階)へお

◆締切り 9月22日(水)

(応募者多数の場合は抽選)

◆試合方法 トーナメント方式。

試合時間は7分間。服装はできるだけ上半身のみチーム内で統一し、運動靴を着用のこと。

◆申し込み・問い合わせ

◆国体大会準備室 (33)1

グリーンライフおだわら'93

10月3日(日)より開幕

かながわ都市緑化小田原フェア



会期 10月3日(日)~11日(月)

会場 上府中公園

時間 午前10時~午後5時

入場 無料

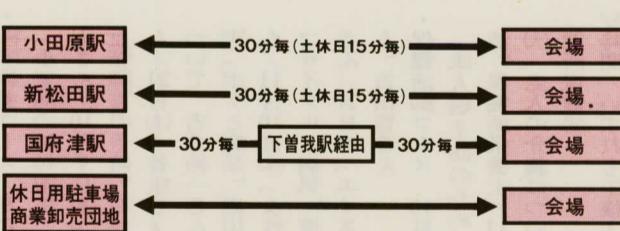
主なイベント

- JR御殿場線「下曾我駅」下車徒歩15分
- JR「小田原駅」下車
バス: 11番線 富士急行
「新松田行」「西大友」下車
徒歩3分

会場(上府中公園)のご案内

花と緑のテーマゾーン	花と緑のパビリオン
ふれあいミニ動物園	いこいのプロムナードゾーン
やすらぎのウォーターゾーン	ゆとりのレクリエーションゾーン
小田原市民鉄道	パンラマ熱気球
水の宝さがし	ウルトラグリーンゾーン
緑のフラッグコンテスト	チャレンジスポット教室
いこいのプロムナードゾーン	フラークスティングラリー
ふれあいバザール	レクリエーションまつり
みどりの郵便だより	グリーンライフケーションゾーン
国輝さん	グリーンライフステージ
一般の方(徒歩に自信のある方)	花と緑のテーマゾーン
講師 郷土史家・三津木國輝さん	花と緑のパビリオン

●会場まで無料バスをご利用ください。



●天候によりスケジュールを変更することがあります。

箱根旧街道を歩く

郷土文化館の歴史探求会



- 集合 午前10時に箱根関所前に集合。午後3時30分ごろ早雲寺で解散予定
- 講師 郷土史家・三津木國輝さん
- 対象 小学校4年生以上一般の方(徒歩に自信のある方)
- 定員 50人
- 参加料 無料
- 持参するもの 筆記用具、弁当、水筒など(服装は軽装で歩きやすいもの)
- 申し込み・問い合わせ
- 申込方法 電話で郷土文化館(☎231377)に申し込んでください。定員になり次第締め切ります。